

2014年8月23日 赤穂民報



東京で幅広く市の魅力PR
首都圏に住む赤穂ゆかりの人々を集めた「第一回東京あこうのつどい」が8月、千代田区のホテルニューオータニで開催された。

赤穂観光大使や各界で活躍する地元出身者など約100人が出席。名刺交換や会食で和やかな雰囲気。情報交換と交流を通じて赤穂の魅力を発信しようと市が今年初

めて企画。東日本高速道路株式会社取締役の横正剛さん、映画プロデューサーの鍋島壽夫さん、かき研究所理事長の森脇泰さんら地元出身者が、赤穂に工場を持つ企業の本社役員など幅広い顔ぶれが集まった。市民院、明倫堂や防災行政無線整備、国道20号で架橋工事など今年度市内で行われるさまざまな事業を説明して、まちづくりの

中川眼科 クリニック
赤穂駅 フラット赤穂1F
☎56-9127
www.nakagawaganka.com

義士ゆかり泉岳寺横に8階建ての建設計画 「景観壊れる」住民反対
赤穂四十七士の墓所南側に隣接し、敷地面積約400平方メートル、約30階建てのマンションの建設計画が持ち上がり、地元住民らから「歴史的な景観と環境を破壊する暴挙」として反対運動を行っている。



建設予定地は中門の会（西須賀神社）による。今年5月、区内に本社を置く不動産業者が区条例に基づき建設計画の告知看板を現地に設置。6月には現建物の解体工事が始まった。

港区内には建築物の高さを規制するルールが今ごろ定められていない。来年10月の運用開始に向けて高度地区指定を検討中だが、区が公表している案では指定マンションの建設予定地は「24階の高さまで建築可能なエリアに含まれていない。しかし、古くから周辺に住む住民らは家屋や店舗を建て替える際、景観に配慮して3階建てよりも高い建物は建たない」としてきた（西須賀代表）と

運動習慣はじめま
をあげようとの会の本ホームページ（http://nagakubo-jimori.jp/）でも署名を呼び掛けており、赤穂のみならず、力添えをいただければありがたい」と話している。（写真は8階建てマンション建設反対の看板と泉岳寺の中門。門の左側のシートで覆われた場所が建設予定地）

2014年9月8日 東京新聞



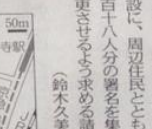
浪士の墓見下ろさないで

泉岳寺隣に8階マンション

赤穂浪士墓で知られる国史跡の泉岳寺（東京都港区）が、隣に計画されているマンションの建設に、周辺住民とともに反対している。景観を守るため七千五百八十八人の署名を集めた住民グループは8日、建設計画を変更させるよう求める請願書を区議会に提出する。

東京・港区 寺と住民 反対運動

マンションはワンルーム中心の8階建てで、高さ約二十二メートル。区内の業者が土地を購入し、九月中旬の着工を予定する。現在は二階建て住宅を解体している。建設予定地は、寺の正面にある区登録文化財「中門」の真横。七月に業者側から計画の説明を受けた住民らは、周辺の建築物は二階建て以下だとして、「二階建てへの変更を求める運動」を始めた。国指定史跡・泉岳寺の歴史的な文化財を守る会の西須賀雄代表（ふくは）は「景観を壊す。寺を訪れる外国人も『傷ついた』と計画に驚いている」と計画に驚いている。



「建設反対」の看板を掲げた泉岳寺中門前。隣には住宅の解体工事後、8階建てのマンションが計画されている＝8月28日、東京都港区で

景観守る規制を
「景観と住環境を考える全国ネットワーク」代表の規制を前掲に建築が行われるヨーロッパと異なり、日本は適切な規制がないため業者が自由に建ててしまう。国の制度が変わらなければ建築競争はなくなるが、東京都港区は、市が公開で住民側と業者側が意見交換を言う調整会を開き、業者側にも効果をおいている。泉岳寺のような場所は本来、港区がリードして景観を守る規制をかけておくべきだ。

- 感染予防**
- ▶長袖、長ズボン着用し、素肌を露出させない
 - ▶屋内でも蚊に刺されないよう注意する
- 虫よけ剤使用時のポイント**
- ▶皮膚の露出部か衣服の上から使用
 - ▶目、口、耳、傷や皮膚が荒れているところは避ける

新宿御苑も閉鎖
デング熱対策
デング熱対策で環境省は七日、新宿御苑（東京都新宿区）を閉鎖した。園内への蚊の調査が終わるまで閉鎖する予定。入り口では職員が外国人観光客らに事情を説明した。



炭火で焼かれたサンマが来場者らに振る舞われた「目黒のさんま祭り」＝7日午前、東京都品川区で

無職 町田 安子 73
(千葉県袖ヶ浦市)

東京都港区の泉岳寺の隣に八階建てマンションの建設計画があることを、八日付記事(社会面)で知り、愕然とした。建設場所が寺の正面にある区登録文化財「中門」の真横だったからだ。

区は「法的に問題はない」、業者側は「住民説明会も開いている」と言いが、八階建てという高さ、現在の風情や趣のある景観を損なうことは確かだ。残念ながら、規制を前提に建築が行われるヨーロッパと異なり、日本は適切な規制がないため、業者が自由に

歴史的景観守る建築を

建ててしまつ、と記事にあった。この一件に限らず、全国各地でも同じような問題が起き、景観をめぐる争いや裁判が相次いでいる。その根幹には、諸外国と比べ、歴史のある文化財の景観保護の意識が、日本では国にも自治体にも乏しいという問題が横たわっているのではない。

外国からの観光客をさらに多く迎えたいと思つたなら、せつかく訪れた人々を失望させないためにも、歴史的な建築物や地域の周辺では、建築の規制をもっと厳しく

反対住民の請願採択

港区議会委「区は業者に指導を」

赤穂浪士の墓でも知られる泉岳寺(港区高輪)の真横に計画されたマンション建設で、景観を損ねると主張して反対する周辺住民と寺が提出した請願が十九日、港区議会の建設常任委員会で全会一致で採択された。審議の過程では、寺などが「建設反対」の看板を掲げた後、区側から業者の意見を伝えられ、いったん降ろした経緯も明らかになった。

七月に明らかになった八階建てマンションの計画。周辺住民は、寺の歴史を「二階建てで、寺の風情を損ねる」として、計画変更を求める署名活動などを進めた。

請願は、計画が泉岳寺の歴史的な価値を損ねると訴え、画道路について、国土交通省から事業認可を受けるまで、計画を凍結するよう業者に対して「徹底した指導」を区側に求める内容。住民への説明会は九月までに数回、建築に着手しないと言っている。などと言わ

「建設反対」の看板を掲げた。同じ日の夕方、区の野口孝彦建築課長の訪問を受け、業者側が怒って話し合いをしないと言っている。などと言わ

主である区内の不動産業者が開いた。業者側が今後、住民個別に行う主張し、住民側は住民全体を対象にした開催を求めている。

「建設反対」の看板をめぐる動きについて、泉岳寺の牟田賢明主事が委員会で明らかにした。牟田氏によると、寺が会と相談して八月七日朝に寺の中門に看板を掲げた。同じ日の夕方、区の野口孝彦建築課長の訪問を受け、業者側が怒って話し合いをしないと言っている。などと言わ

若者を戦争に巻き込ませたくないという引条おじさんの遺志を引き継ぎ、小金井市で市民団体などが二十

計画では道路幅を二十メートルとし、二車線の両側に自転車道と歩道を整備する。ほかの二区間計七十メートルは既に事業に着手しており、残る二区間も本年度中の

「九条おじさん」の遺志をスライドでしのび追悼セレモニーが催される。

講演会のタイトルは



「建設反対」の看板を掲げた泉岳寺の中門(港区で)

泉岳寺「マンション問題」シンポ

寺社仏閣と地域の景観を考えようというシンポジウムが26日、港区高輪2の泉岳寺で開かれる。泉岳寺では隣接地で民間業者が計画するマンション建設に国内外から反対の署名などが集まっており、地域住民らでつくる「国指定史跡・泉岳寺の歴史的文化的財を守る会」が初めて主催する。

マンションは泉岳寺の正面にある中門の真横に計画され「景観を損ねる」などとして寺も地域住民も反対。寺には「忠臣蔵」

26日「守る会」が主催

の基になった赤穂四十七士の墓があり、観光に訪れる外国人からも反対の署名に参加している。

シンポジウムでは、日本景観学会会長の五十嵐敬喜法政大名誉教授が基調講演。パネルディスカッションでは、京都市中心部の景観に詳しい中林浩神戸松蔭女子学院大教授や、浅草の浅草寺景観訴訟原告団の白田信重さん、泉岳寺の牟田賢明主事が登壇する。

歴史や文化の積み重ねである地域の景観が開発に脅かされる問題が日本各地で絶えないことから、守る会では「広く寺社仏閣が地域に果たす役割と、日本の地域景観の重要性を考えた」とする。

定員40人。参加費1000円。申し込みは、インターネット＝<http://form1.fc2.com/form/?id=938222>＝か、ファクス＝03(3441)2208＝か、電話＝070(6560)8062＝で。問い合わせは吉田さん＝電080(4079)5569＝へ。

(鈴木久美子)

「寺社仏閣の役割と地域景観 考えたい」

「景観守る法、必要」



社寺仏閣と地域の景観をどう守るか話し合ったシンポジウム＝港区の泉岳寺で

「泉岳寺宣言」まとめる

マンション建設計画に近隣住民らの反対運動が起きている港区高輪の泉岳寺で二十六日、寺社と景観を考えるシンポジウムが開かれた。文化の継承を担う寺が周辺の開発に脅かされる京都や浅草などの報告もあり、歴史的な景観を守る法制度の必要性や泉岳寺の価値保全を「泉岳寺宣言」としてまとめた。

「今年七月に計画が明らかになってから、問題を考えない日はない」と、泉岳寺の牟田賢明主事は憂えていた。マンションは民間業者が寺本堂を見下ろす形で八階建てを建てる計画だ。一帯は寺と調和するよう三階建て程度にしてきたことから、住民や寺が反対するが、区は建築基準法など法律上の問題はないとする。行政の保護が期待できない中、浅草寺では周辺に高い建物が増え、土壌を買い取る苦肉の策が、景観訴訟原告団の白田信重さんから報告された。

東京都では住民の声を反映して二〇〇七年に建物の高さ制限が強化され、一部地区では上限が十一階相当の三十一メートルから五階相当の十五メートルとなった。しかし、その後に市が特例を設けるなど規制を緩和。「市民側が監視を怠ることができない」と神戸松蔭女子学院大の中林浩教授（都市計画学）は危惧する。

日本景観学会会長の五十嵐敬喜さんは「地域にふさわしい建物かどうかを判断するよう法の見直しをしなければ、いつまでも問題は起る」と訴えた。

シンポジウムでは、「忠臣蔵」などで三百年以上も伝えられる赤穂四十七士や、その墓がある泉岳寺の文化も話題になった。「四十七士は武士の中でも忠義を重んじた数少ない方たち」と牟田さんは説明。五十嵐さんは「忠義」も普遍的な価値と認められれば泉岳寺は世界遺産にもなりうる」と期待した。

（鈴木久美子）

隣に高さ24メートルマンション計画

泉岳寺揺れる景観

東京・赤穂義士眠る国史跡

忠臣蔵ゆかりの泉岳寺（東京都港区）が景観問題で揺れている。隣に高さ約24メートルのマンション計画が建

建築主 「外観などに配慮」

反対住民 「価値おとしめる」

今年7月、鉄筋コンクリート8階建てマンションの計画が持ち上がった。建設地は観光の撮影地点である寺の中間脇。民家が受けた約400平方メートルの土地を業者が購入した。反対住民は「国指定泉岳寺宣言を採択した。場合は全国の義士ファ



④泉岳寺の隣に建つマンションのイメージ図（国指定史跡・泉岳寺の歴史的な文化財を守る会提供）



⑤泉岳寺 赤穂藩主浅野家の菩提寺（ぼだいじ）。1612年の創立で、41年に焼失し、浅野内匠頭の祖父が再建に携わった。赤穂事件ではあだ討ちを果たした赤穂義士が泉岳寺に向かい、吉良上野介の首を内匠頭の墓に供えた。切腹した義士の葬式も同寺で営まれ、埋葬された。

1万6千平方メートルを売却。同窓生からは資

マンション計画 泉岳寺猛反対

赤穂浪士眠る隣8階建て建設中

「忠臣蔵」の赤穂浪士が眠る泉岳寺(東京都港区高輪2丁目)の隣で、8階建てマンションの建設工事が始まり、寺側が猛反対している。各地で寺社など歴史的な景観が残る土地にマンション計画が持ち上がり、論争が巻き起こっている。

泉岳寺

徳川家康が1612(慶長17)年、江戸城に近接する地に創建した。1641年の「寛永の大火」で焼失後、高輪に移った。赤穂藩浅野家の江戸の菩提(ぼだい)寺で、浅野内匠頭(たくみのかみ)と赤穂浪士の墓は国の史跡に指定されている。

「景観台無し」業者は「規制内」

「建設反対」。泉岳寺が入り口の「中門」に立て看板を掲げたのは、この夏のことだ。1836(天保7)年に再建された中門の脇で10月、マンション建設工事が始まった。

寺の広報担当の愛蔵主事、牟田賢明さん(46)は「不格好だが、寺の決意を示すためには仕方なかった。本堂で毎日、四十七士の供養をしている。マンションの住民から見下ろされ、荘厳な空間が台無しになる。景観問題に詳しい法政大の五十嵐敬喜・名誉教授(都市政策)は「赤穂浪士の耐えが、武士道や忠義として普遍的な価値があると、西欧の人々に認められれば、世界遺産になるかもしれない」と指摘する。

浅草寺は周囲を買い戻し

各地で論争

校の名所として知られる京都市北区の平等院。本殿は国の重要文化財で、境内には約60棟、約400本の桜が植わる。



製本神社の境内で進むマンション工事＝京都市上京区

8月、東隣の民家跡地で5階建てマンションの建設工事が始まった。周辺の建物には高さ15メートルの規制がかかるが、計画は規制内だ。建築主は市の求めに応じて緑地を充実させたが、納得しない神社側は7月、計画変更を求めた。民家跡地を京都市に引き渡した。京都市上京区の製本神社(京都市上京区)の敷地内では昨年、マンション計画が持ち上がった。市による「本殿修復費用などを」と、数年前から周辺で

「建築計画許可制」

各地で街づくり条例を手がける都市プランナー・野口和雄さんの話。民間の検査機関などが建築計画を審

査する現在の「建築確認制度」を改め、行政による「建築許可制度」にするべきだ。自治体が、歴史的建造物の周辺での建築計画を容易に認めないという姿勢を取れば、こうした事態にならない。寺社は日頃から自治体もある。

景観に対する問題意識を持ち、住民と任意の景観協定をつくらなければならない。土地が売買された後で反対しても仕方ない。東京都国分寺市のように、第三者による調整制度を設ける自治体もある。

月下旬に完成する予定だ。寺は今夏、住民らと「泉岳寺の歴史的文化財を守る会」をつくり、計画変更を求める約1万人分の署名を集めた。マンションができると「歴史に思いを馳せて訪れる人々に失敬感を抱かせてしまおう」として、不動産会社は取材に「変更の予定はない。高さも港区が来年から実施する規制を先取りし、『24メートル以下に抑えよう』と説明する。(橋田正城)

消防無線巡り談合か 公取委、NECなど立ち入り

消防や救急の無線をデジタル化するのに伴い、全国の自治体が発注した消防無線デジタル無線システムの設置工事の入れで談合をしたとして、公正取引委員会(公取委)は18日、独占禁止法違反(不当な取引制限)の疑いで、NEC(東京都)など、いくつも東証1部上場のIT機器メーカー5社の本社や営業所に立ち入り検査に入った。

検査を受けたのはほか、富士通セナール(川崎市)、沖電気、日本無線、日立国際電気(いずれも東京都)。

車衝突4人死亡 千葉

18日午前0時55分ごろ、千葉県柏市津田の県道で、乗用車と10トンタンク車が衝突し、乗用車の男性8人と女性1人が全身を強く打ち、搬送先の病院で死亡が確認された。乗用車のドライバーは17歳とみられ、身元の確認を進めている。タンク車の男性運転手(73)は同県東津市に

Building hems in Sengakuji Temple

KYODO

As Sengakuji Temple prepares to mark on Sunday the legendary revenge taken by the Ako Roshi (47 ronin), priests are up in arms over the construction of an imposing eight-story apartment block next to its entrance.

The building will damage the historic Tokyo site's appearance, they argue. It is where the ronin, who famously avenged their unfairly punished master, are buried. Lord Asano Takuminkami, the master, is also buried there.

A Tokyo-based real estate agency unveiled plans to construct the building in July. The condominium will occupy a 400-sq.-meter plot and will stand 24 meters tall. If completed, it will overshadow the renowned graves.

The temple quickly organized a defense group comprising local residents. A petition signed by about 10,000 people underscored



An illustration of a planned building is imposed on a photo of the entrance to Tokyo's Sengakuji Temple. Priests call the plan inappropriate and damaging to the historic site. KYODO

the strength of opposition.

The Minato Ward Council accepted the petition and unanimously upheld it in October. But construction does not legally require prior consent between the constructor and the ward office, thus leaving the ward unable to demand changes or to halt construction. The groundwork started in October.

The temple filed its objection with the Minato Ward's architectural review board

saying that the building permit review process was inadequate.

The company behind for the project said the building was designed in compliance with new height restrictions the ward plans to enact next year. It also said residents in the area have been provided full information on the project.

The priests are defiant. They believe construction is ill-advised and will do lasting damage.

"The graves have historical value, putting the site on the World Heritage list; and the site enjoys popularity among foreign tourists who pay special visits during their trips to Japan," said priest Kenmyo Muta.

"We hope that through commemorative ceremonies and other efforts to protect the site and the surrounding landscape, we will manage to get a nationwide support for this."

2014年12月15日 東京新聞

【社会】

泉岳寺の景観、大事でござる 赤穂浪士「義士祭」でマンション反対

ツイート 40 | B! 1 | チェック | おすすめ 105 | g+ 1

2014年12月15日 夕刊

「忠臣蔵」で知られる赤穂浪士が吉良上野介邸に討ち入った日に当たる十四日、赤穂四十七士の墓がある泉岳寺（東京都港区）で恒例の「義士祭」が開かれた。寺の隣のマンション建設に住民らの反対運動が起きている今年は、「望みは唯（ただ）ひとつ、泉岳寺の景観を守ることとござる！」と書かれたのぼり旗を掲げ、討ち入り装束姿の義士行列が都内をパレードした。

パレードは、中央区役所前を出発して歌舞伎座や増上寺前など約六キロを進み、泉岳寺に到着。「守れ！泉岳寺！」のポスターを貼った屋台が並ぶ参道を堂々と歩き、列をなす多くの参拝客らに見守られながら四十七士の墓参りをした。

赤穂義士行列実行委員会の小野寺紘毅代表（70）は「泉岳寺（の大事さ）を意識する機会になれば」と話す。家族と参拝に来ていた武蔵野市の会社員川上宏樹さん（55）は「心情的には、ここに（マンションは）ない方がいいね」と話した。

泉岳寺に四十七士の墓があるのは、赤穂藩主・浅野家の菩提（ぼだい）寺だった縁から。マンションは八階建ての計画で、景観を損ねるなどとして寺や周辺住民らに反対の声が湧き起こる中、十月末に着工した。住民らによる「国指定史跡・泉岳寺の歴史的文化的文化財を守る会」は、港区にマンション用地の買い取りを求めて署名活動を開始。この日も義士祭会場で参拝客らが次々と署名をしていた。



「泉岳寺の景観を守ると、のぼり旗を掲げる赤穂義士行列＝14日、東京都港区で（鈴木久美子撮影）」

安兵衛ら眠る東京・泉岳寺

隣にマンション 猛反発

新発田の有志 署名で「助太刀」

新発田出身の赤穂四十七士・堀部安兵衛らが眠る泉岳寺(東京都港区高輪)の隣でマンション建設が進んでいる。14日の義士祭を前に寺は「景観が台無し」と猛反発。住民らと計画変更を求める運動に取り組んでいる。新発田市の有志は「四十七士も穏やかではないはず。寺の静寂と景観を守りたい」と、寺側に「助太刀」することとし、建設反対を求める署名活動を始めた。



今年7月、都内の不動産会社が寺の中門南側の隣接地約400平方メートルに8階建て、高さ24メートルのマンションを建設する計画が明らかに

しかし、建築確認では法的に問題はないとしている。港区は計画変更を求めることができず、10月に基礎工事がスタートした。寺は建築確認が実態に合っていないと、区建築審査会に

なった。完成すれば、境内にある堀部安兵衛や浅野内匠頭らの墓所を見下ろす形となる。寺は住民らと「国指定史跡・泉岳寺の歴史的文化財を守る会」を結成、計画変更を求め約1万人の署名を集めた。業者への指導を求めた請願は、10月に港区議会が全会一致で採択した。

審査請求を行っている。事業主の不動産会社は「区が来年度施行予定の高さ制限を先取りし、外観に配慮した。地元にも丁寧に説明している」として工事を進める構えだ。

泉岳寺の牟田賢明・受処主事は「墓所は、海外からも多くの参拝客が訪れる。義士祭などを通じて、景観を守る署名を全国に呼び掛けた」と話した。安兵衛を顕彰する市民団体「武庸会」も、先月から建設反対の署名活動を始めた。国指定名勝の清水園(新発田市大栄町7)や市観光協会などの窓口で署名を受け付けている。11日までに約100人分を「守る会」に送った。

14日には、同市でも「義士祭」が予定されている。武庸会は、安兵衛の父の菩提寺で会場となる長徳寺(同市大栄町2)で署名活動を行う。



⑤マンション建設に反対する署名に応じる市民11日、新発田市で泉岳寺の隣に建つマンションのイメージ図(国指定史跡・泉岳寺の歴史的文化財を守る会)提供



トキ先生、の冥福祈る

佐藤 佐藤春雄さん通夜



多くの参列者がトキ保護に生涯をささげた佐藤さんをしのんだ通夜=12日、佐渡市

9日に95歳で死去したトキ保護の第一人者、佐藤春雄さんの通夜が12日、佐渡市内の斎場で開催された。約240人が参列し、保護活動の礎を築き上げた功労者の冥福を祈った。佐藤さんが齋居を務めた「海とる保護会」の坂田金正

会長(88)らが市辞を讀み上げた。参列者は静かに手を合せて、哀悼の意を表した。佐藤さん(88)は参列者を前に「自宅近くにトキを見に行つた際、双眼鏡に目を当てながら「驚いていたことが現実になり、長年苦しめていた」と話していた」と

述べた。佐藤さんと保護活動に取り組んだ高野毅さん(91)は「佐藤市新徳地区でも参列した。佐藤先生が亡くなった日に、トキが10羽ほど増えているのを喜んだ。トキも先生をしのんでいると思う。先生が遺志を引き継ぎ、活動を続けたい」と話した。放鳥トキ「羽死ぬ」佐渡、保護活動が

東京

隣でマンション建設進行 寺や住民「景観が台無し」

赤穂浪士が眠る泉岳寺で論争

忠臣蔵の計りに入りになん
だ赤穂義士祭が14日に行われ
た赤穂浪士たちが眠る泉岳寺
(港区高輪)。その隣でマン
ションの建設工事が進行して
いることから、寺や住民らが
「景観が台無し。文化財の価
値をおとしめるものだ」とし
て、猛反発をしている。景観
論争の行方はどうなるのか。
着地点は見えていない。

今年7月、都内の不動産会
社が寺の中間南側の隣接地約
400平方メートルに地上8階建
て、高さ24メートルのマンシ
ョンを建設する計画があるこ
とが明らかになった。隣接地の
住宅は、一部所有権が4月に
同社へ移っていた。完成すれ
ば、境内にある浅野内匠頭や
浪士の墓所を見下ろす形と
なる。

寺では住民らと「国指定史
跡・泉岳寺の歴史的文化財を
守る会」を結成し、計画変更
を求める約1万人の署名を集
めた。また、業者への指導を
求めた請願は、10月にも区議
会が全会一致で採択してい
る。

しかし、建築確認では「法
的に事前協議が必要な問題
はない」として、区は計画変更
を求めることができず、10月
に基礎工事がスタートしたと
いう。寺では「建築確認が実
態に合っていない」として、
区建築審査会に異議申し立て
を行っている。

事業主の不動産会社は「区
が来年施行する予定の高さ制
限を先取りし、外観に配慮し
た、地元にも丁寧に説明して
いる」として工事を進める構
えだ。

泉岳寺の牟田賢明・受処主
事は「墓所は世界遺産になり
得る歴史的価値があり、海外
からも多くの参拝客が訪れ
る。義士祭などを通じて、景
観を守る署名を全国に呼び掛
けたい」と話している。

泉岳寺 1612年、徳川家康が江戸城近くに
創建。寛永の大火で焼失後、港区高輪へ移さ
れた。浅野家の菩提寺で大石内蔵助らが吉良上野介
の首を主君、浅野内匠頭の墓前に供えたことで知ら
れる。境内の内匠頭と浪士たちの墓所は国指定史跡。




赤穂浪士たちが眠る泉岳寺境内の墓所—港区高輪
泉岳寺の隣に建つマンションのイメージ図（「国
指定史跡・泉岳寺の歴史的文化財を守る会」提供）

東京編集部
〒100-8077
東京都千代田区
大手町1-7-2
☎ 03-3275-6747
FAX 03-3275-6975
shuto@sankai.co.jp
広告 042-525-4138
購読申し込み
0120-70-3034
配達・集金
0120-34-4646
紙面・記事
03-3275-8864
Web
http://www.sankai.com/
region/region.html

あすのこよみ

(19日)
旧10月28日
(先勝)



月齢……26.6
日出……6:45
日入……16:30
月出……3:27
月入……14:19
満潮……3:41
14:23
干潮……8:49
21:28
中潮……(東京)



亀岡の聖地に安置される伊能忠純
首坐像。事件で首と手足が切り落と
された。像の向かって右手前に落と
された左手の一部が見える



◇ 主な連載 ◇

- 時事展覧 UP
- ほっとインタビュー UP
- 断面 UP
- 深層ワイド UP
- キラリ 頑張る社寺 UP
- 世界宗教地勢 UP
- <コラム> 風録 UP
- 随想随筆 UP
- 【小説】溺れるマリコ

「景観守れ」 泉岳寺の隣に高層マンション

2014年12月19日 15時39分

赤穂浪士の墓所がある曹洞宗泉岳寺（東京都港区）の隣接地に高層マンションの建設が進み、波紋を呼んでいる。14日の義士祭で、建設に反対するトークセッションが行われ、五十嵐敬喜・日本景観学会会長（法政大名名誉教授）は「あまりに赤穂浪士に失礼だ。日本人に美しい心が失われているからこのようなことが起きる。宗教界も強く声を上げるべきだ」と訴えた。

マンション（高さ24メートル、8階建て）の建設が進むのは中門の南側で、もともと3階建ての住居があった。今年6月末に新築計画が判明。7月に初めて説明会が開かれ、住民はさらに詳しい説明を求めているが、業者は区に建築確認を申請し、8月に許可が下りた。マンションが建設されると、義士の墓を見下ろす形になる。

そこで同寺や地元の有志らが「国指定史跡・泉岳寺の歴史的文化財を守る会」を発足させ、9月に計画の変更などを求めた請願を区議会に提出。請願は採択されたが、強制力がないため工事は進んでいる。現在は建築確認の見直しを求めて審査請求を行っている他、区に土地の買い取りを求めている。

五十嵐会長は忠臣蔵が日本文化に深い影響を与え、世界的に評価が高まっていることに加え、泉岳寺周辺が将来、世界遺産になる可能性を指摘。「大きな試練だが、ここで景観を守られければ、日本中のどこの景観も守れない」と強調した。（詳細は2014年12月19日号をご覧ください。）

中外日報購読申し込み

泉岳寺横マンション問題 用地買い取り要望へ 市民グループ署名運動

赤穂義士が眠る泉岳寺（東京都港区高輪）そばの8階建てマンション建設をめぐる、「歴史的景観、文化的価値を損ねる」などと建設に反対する市民グループが、用地の買い取りを区に求める署名運動を展開している。義士祭が行われた14日には参加者であつた同寺境内に署名ブースを設置し、協力を呼び掛けた。



建設用地（約400平方メートル）は港区指定文化財の中門のすぐそばで、国指定史跡の義士墓所の東側に当たる。東京都内の不動産会社が高さ約23・8階の単身者向け共同住宅を建設する計画。区が来年10月の運用を予定して

で採択されたが法的強制力はなく、事業者は10月末に当初設計のまます工した。同寺と同会は11月、建築確認に違法性があるとして、取り消しを求める審査請求を申し立てた。来年1月に口頭審査が開かれる予定だが、この間も工事は進められている。同会は「今のところ、用地を買い取る以外に問題解決の手立てはなく、赤穂のみならず、署名で力を貸してほしい」と訴えている。署名は来年1月末で一旦集計し、2月の区議会へ提出する予定。用紙は同会ホームページ（http://sengaku-jimamoru.jimdo.com）からダウンロードできる。問い合わせは泉岳寺（070・65608062）（写真は義士祭当日に泉岳寺境内に設けられた署名ブース＝同会提供）

東京2014

1 泉岳寺マンション問題

歴史の建物は周辺も含めて景観を守りたい。港区高輪の泉岳寺では今夏以降、隣接地の民間業者によるマンション計画に周辺住民が反対の声をあげ運動を続けている。関心は高まり、法的な側面からも、建築審査会に審査請求を行い、来年1月に口頭審査が予定されている。

（下に建てるのを認め

2014年（平成26年）12月27日（土曜日） 都心 地域の情報 22

周辺景観も守る制度を

歴史の建物は周辺も含めて景観を守りたい。港区高輪の泉岳寺では今夏以降、隣接地の民間業者によるマンション計画に周辺住民が反対の声をあげ運動を続けている。関心は高まり、法的な側面からも、建築審査会に審査請求を行い、来年1月に口頭審査が予定されている。

（下に建てるのを認め

マンション完成後の予想図（「国指定史跡・泉岳寺の歴史的文化的財を守る会」提供）

泉岳寺のマンション問題 民間業者が泉岳寺の山門横の敷地（395平方メートル）に8階建て（24メートル）の単身者用マンションを来年10月の完成予定で計画。住民らが「国指定史跡・泉岳寺の歴史的文化的財を守る会」（西須好輝代表）を立ち上げて反対運動を、寺も賛同している。

公益だと法で保証されている。法の保護がない日本では、「自治体が都市計画で規制するべきだ」と景観問題に取り組み日置雅晴弁護士。対策が遅れる中、泉岳寺では会が十一月に審査請求を行った。審査計画では敷地が面する幅十五メートルの側道について、泉岳寺の参道であり山門や緑地帯もあることから実際の幅は狭く建築基準法上道路として認められたいと指摘。消防車も入れず、非常時の対応もできないとする。建築審査会が請求を認めれば工事は中止だ。建築確認を認定した民間の指定確認検査機関は「書類は法に適合していると確認した」としており、建築審査会の判断が注目される。

「守る会」では、用地の買い取りを区に求める署名も始めた。従前から行っている建設反対の署名とあわせ四十二万画以上の計一十七万七千が集まっており、側面も対応を迫らる。

（鈴木久美子）

二〇一四年も残りあとわずか。今年も、さまざまなニュースが都内を駆け抜けた。取材した記者たちがこの一年を振り返る。

都心

文房堂

明治20年創業 画材専門店

アートスクール

2015年1月期生募集中
資料（無料）ご請求下さい

www.bumpodo.co.jp

都内の天気

きょう あす

都心部

府中

八王子

きょうの予想

降水確率
朝0% 昼0% 晩
気温
最高9度 最低-1度
北の風はじめ北の
や強く

社会部東京ニュース
〒100-8505
東京都千代田区
内幸町
電話 03-6910
FAX 03-3595
mail:shakai@
tokyo-nr
したまち支局
電話 03-3844
FAX 03-5827
立川支局
電話 042-524
FAX 042-524
武蔵野 0422-43
八王子 042-658
町田 042-727

Japan Times



Condo set to loom over graves of legendary samurai spurs protests | The Japan Times
www.japantimes.co.jp

The "47 ronin," samurai who inspired the long-loved saga of loyalty and honor eulogized in films, books and plays, are fighting a new kind of battle in urb

The New York Times

The New York Times <http://nyti.ms/1C65FEG>

ASIA PACIFIC

Condo to Loom Over Samurai Graves in Japan, Spurring Protest

By THE ASSOCIATED PRESS JAN. 13, 2015, 2:42 A.M. E.S.T.

TOKYO — The "47 ronin" samurai who inspired the long-loved saga of loyalty and honor eulogized in films, books and plays are fighting a new kind of battle in urban Japan.

An apartment complex is going up next to the curved tile-roofed Sengakuji temple where the three-century-old graves of the ronin, or masterless samurai, lie. The stone monuments, standing barely waist-high, are known here and elsewhere as a humble but proud testament to sacrificing one's life for what's right.

The Buddhist monks who are still praying for the souls of the ronin, visitors from near and far, and the neighborhood residents including those who run souvenir stores are all aghast. Nearly 2,000 people have signed a petition demanding a stop to the construction. Huge protest banners are up by the gate.

Plans show an eight-story condominium, measuring 24 meters (79 feet), dwarfing the graves and placing the temple's main wooden gate in its shadow. Building has already begun and construction is expected to be completed later this year.

"People who come and pray here, including tourists from abroad, can't

その他

Canadian Business

Yahoo News、HUFF POST BUSINESS CANADA

など、複数海外メディアに掲載

The Independent

2015/05

Japan's Samurai warriors battle to halt building of eight-storey block of flats next to their temple



Japan's Samurai warriors battle to halt building of eight-storey block of flats next to their temple

The Sengakuji temple houses the graves of ronin warriors, and nearly 2,000 people have signed a petition demanding a stop to the construction

Yuri Kageyama

Tuesday, 13 January 2015

The "47 ronin" samurai, who inspired the long-loved saga of loyalty and honour eulogised in films, books and plays, are fighting a new kind of battle in urban Japan.

A flat complex is going up next to the curved tile-roofed Sengakuji temple, where the three-century-old graves of the ronin – or masterless samurai – lie. The stone monuments, standing barely waist-high, are known as a humble, but proud, testament to sacrificing one's life for what's right.

The Buddhist monks who are still praying for the souls of the ronin, visitors from near and far, and the neighbourhood residents, are all aghast. Nearly 2,000 people have signed a petition demanding a stop to the construction.

Plans show an eight-storey condominium dwarfing the graves and placing the temple's main wooden gate in its shadow. Building has already begun and it is expected to be completed later this year.

"People who come and pray here, including tourists from abroad, can't believe why this is being allowed," said Kenmyo Muta, a priest at the temple. "Anyone can see what it will do to this beautiful place."



The plight of the graves highlights the recurring struggle between commercial development and efforts to preserve history. Japanese cities are often a hotchpotch of futuristic buildings next to kitsch, if not slum-like, chaos.

"What we are seeing here is the tragically common, ever-repeating story where a private gain is valued higher by the existing laws and planning regulations than the preservation of a public historical asset," said Christian Dimmer, an assistant professor of urban design at the University of Tokyo.

Similar conflicts are unfolding around Japan, Professor Dimmer said, especially as new earthquake-resistant technology allows for taller structures.

<http://www.independent.co.uk/news/world/asia/japan-samurai-warriors-battle-to-halt-building-of-eight-storey-block-of-flats-next-to-their-temple-9976105...> 1/2

泉岳寺マンション建設反対

宝くじ同封し「守る会」へ

「見張られておつては殿もやすやす眠れぬゆえ」

堀部安兵衛名乗り手紙

「義の心を取り戻していただきたく重ねてお願い申し上げ候」。赤穂四十七士の一人で、その剣豪ぶりなどから今も人気の高い堀部安兵衛を名乗る手紙が、堀部の眠る泉岳寺（港区）で隣接地のマンション建設に反対している「国指定史跡・泉岳寺の歴史的文化財を守る会」あてに届いた。

（鈴木久美子）



手紙は封書で二十六日に届き、堀部の出身地新潟県新発田市の消印が押されていた。宝くじとナンバーズ4、ロト6が計四十七口分、同封されていた。手紙はA4サイズの和紙のような紙に縦書きで印刷。「何やら火の見櫓のような高いところに人が住むとやら そんな高いところから見張られておつては

「堀部安兵衛武蔵（たけつね）から届いた手紙とくじ

殿もやすやす眠れぬゆえ御免こうむりたく」と記される。剣術で立ち向かうと考えたが「大石殿」に戒められ、代わりに宝くじで貢献しよう、と「仲間の浪士にも工面いただき」贈ったとした。

「現代というところは多くの民が大切に思ってくださる御心とは関係なくお金持ちや金儲けのうまいものが、得をする世らしい」とあり、建設反対の署名が集まっても工事が続くことを嘆くように読み取れる。「なにとぞ お上の御裁きをもって乱心を戒め義の心を取り戻していただきたく重ねてお願い申し上げます」と締めくくると。会では「（差出人に）心当たりはなく、びっくりしたが、うれしい手紙です」と喜ぶ。くじが当たったら賞金は、会が区に求める建設用地買い取りに生かしたいという。

2015年1月27日 朝日新聞

泉岳寺隣の開発心配？「堀部安兵衛」名の手紙

檀家あてマンション計画嘆く

隣接地でマンションの建設が進む泉岳寺（港区）の檀家宅に26日、この寺で眠る赤穂四十七士の一人、「堀部安兵衛」から手紙が届いた。建設の中止を求める内容で、宝くじが入っていた。

封書が届いたのは、建設に反対する寺と住民でつくる「泉岳寺の歴史的文化財を守る会」のメンバー、吉田朱音さん（37）宅。中には、毛筆で印刷された「堀部安兵衛武蔵」からの手紙が入っていた。

「近頃なにやら騒がしく、ぐらぐらと揺れることあり」と書き出す手紙は、「人が鉄のからくり物を使うて揺らしておる」と続いている。

マンション建設は昨年10月に始まった。建築計画の概要書によると、鉄筋コンクリート8層建てで、高さ23・83メートル。寺の入り口・中門の高さの3倍を超える



「堀部安兵衛武蔵」からの手紙とくじの宝くじが入っていた。泉岳寺の歴史的文化財を守る会提供（宝くじの番号にモザイクをかけています）

「高いところから見張られては やすやす眠れぬ」

手紙は「火の見やぐらのような高いところに人が住むとやら。そんな高いところから見張られては、やすやす眠れぬゆえ御免こうむりたく」。

宝くじも同封

自治宝くじ10枚、「ロト6」30口、「ナンバーズ4」7口が同封されていた。守る会は、建設を止めるため、港区に土地の買い取りを求めている。買い取り価格は想定で10億円。全てのくじで1等が当たれば賞金は約2億円。会は、全額を区に寄付するつもりだ。

建設を進める不動産会社は「コメントすることはありません」と話す。

生誕地の消印

誰がしたためたのか。消印は安兵衛の生誕地・新潟県の「新発田市」。市内で安兵衛にちなんだ催しをしている「堀部安兵衛助太刀隊」では、安兵衛が縁で以前から知り合いの吉田さんから連絡を受け、主なメンバーに尋ねたが、差出人は見つからなかった。

自治宝くじの抽選日は29日。他のくじも2月26日までで抽選が終る。（河野正一郎）